

令和7年度佐賀大学教育学部附属小中学校
教育研究発表会

特別活動 当日資料

やるきスイッチ!オン!
～なつやすみでミラクルチェンジ!～



2025.7.23

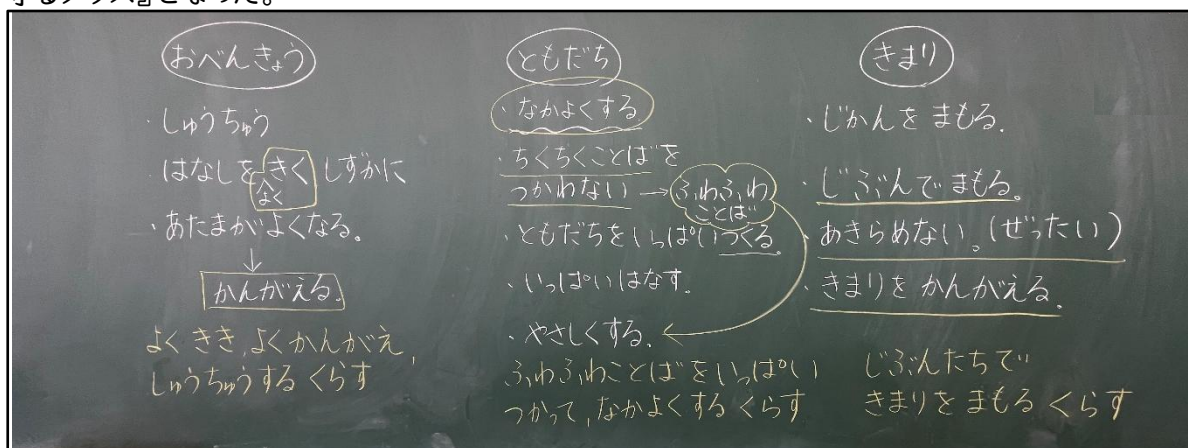
公開授業Ⅱ 10:20～11:05
授業研究会① 11:20～12:30

佐賀大学教育学部附属小学校
〒840-0041
佐賀市城内2丁目17番3号
☎0952-26-1005

宮崎 剛

学級目標(やるき!ミラクル)について

入学して3週間が過ぎ、学校生活にも少しずつ慣れてきた子供たち。友達の輪も広がり、1年3組の仲間としての意識が少しずつ芽生えてきた。このタイミングで「みんなの合言葉になるような学級目標を考えてみない？」と教師から提案し、学級活動(1)で1時間を使い、どんな学級になりたいか、みんなで話し合うこととした。その際、漠然としたイメージでは1年生では意見を出すことが難しいと考え、①学習②友達③きまりの3つの視点を提示し、周りの友達と話し合いながら自由に考えを発表させた。①学習の視点では、「集中するクラスがいい!」、「頭が良くなるクラスがいいな。」、「それなら話をしっかり聞かないといけないよ!」など一年生なりに友達の考えに意見をする姿が見られた。それらの意見をまとめた結果、学習面では『よく聞き、よく考え、集中するクラス』となった。②友達の視点では、「仲良くしたい!」、「ちくちく言葉を使わないでふわふわ言葉を使ったら仲良くなれるよ。」という意見から『ふわふわ言葉をいっぱい使って仲良くするクラス』にまとまった。③きまりの視点では、「きまりは自分で守らないといけないよ。」という意見が多数出て『自分たちできまりを守るクラス』となった。



2時間目に3つの視点で考えたクラスのめあてを意識できるような合言葉について話し合う活動を行った。色々な言葉が飛び交い、中々どれがいいのか決まらない中、ある児童から「言葉をミックスしたらいいんじゃない?」という発言があった。その発言をきっかけに色々な言葉がミックスされ、「これがいい!!」と総意のもと、学級目標が『やるき!ミラクル』に決定した。このめあて達成に向けて、みんなでやるきいっぱいに頑張っていこうと話を行った。また、『ミラクル』のイメージを児童に尋ねたところ、「宇宙!」という意見が出て、学級目標のデザインが宇宙に決まった。一人一人が輝く星になることをイメージしながら、わいわい楽しく学級目標を制作することができた。



学級活動(2)(3)年間計画

小学校における学級活動はそれぞれの特質に応じて「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」、「(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」、「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」の3つの内容に分類されている。本校特別活動の研究では、一人一人が自分の課題解決や自己実現に向けて自分に合った目標を意思決定し、実践する学級活動(2)、学級活動(3)に焦点を当てる。学級活動(2)は、関係する教科等の学習や個別の生徒指導との関連を考慮して、学級活動(3)は、キャリア教育との関連を考慮して担任の教師が意図的、計画的に指導する内容である。今年度の年間計画は以下のように設定した。ただし、児童の実態に応じて内容の一部を変更することもあり得る。

月	内容	やる気スイッチ!オン! 題材名(9月以降は予定)
4月	学級活動(3) ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成	小学校ってどんなことするの? 【なりたい1年生】
5月	学級活動(3) イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解	当番・係活動って? 【働くこと】
6月	学級活動(2) ア 基本的な生活習慣の形成	スッキリミラクルチェンジ! 【整理整頓】
7月	学級活動(2) ア 基本的な生活習慣の形成	あいさつミラクルチェンジ! 【挨拶】
7月～ 8月	学級活動(3) ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成	夏休みでミラクルチェンジ! 【夏休み明けのなりたい自分】
9月	学級活動(2) イ よりよい人間関係の形成	みんなをえがおに ミラクルチェンジ! 【友達】
10月	学級活動(3) イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解	みんなのために ミラクルチェンジ! 【働くこと】
11月	学級活動(2) ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成	ピカピカミラクルチェンジ! 【手洗い】
12月	学級活動(3) ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成	冬休みでミラクルチェンジ! 【冬休み明けのなりたい自分】
1月	学級活動(2) エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成	もぐもぐミラクルチェンジ! 【給食】
2月	学級活動(3) ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	よく聞き、よく考え ミラクルチェンジ! 【学習態度】
3月	学級活動(3) ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成	2年生に向けて ミラクルチェンジ! 【2年生でのなりたい自分】

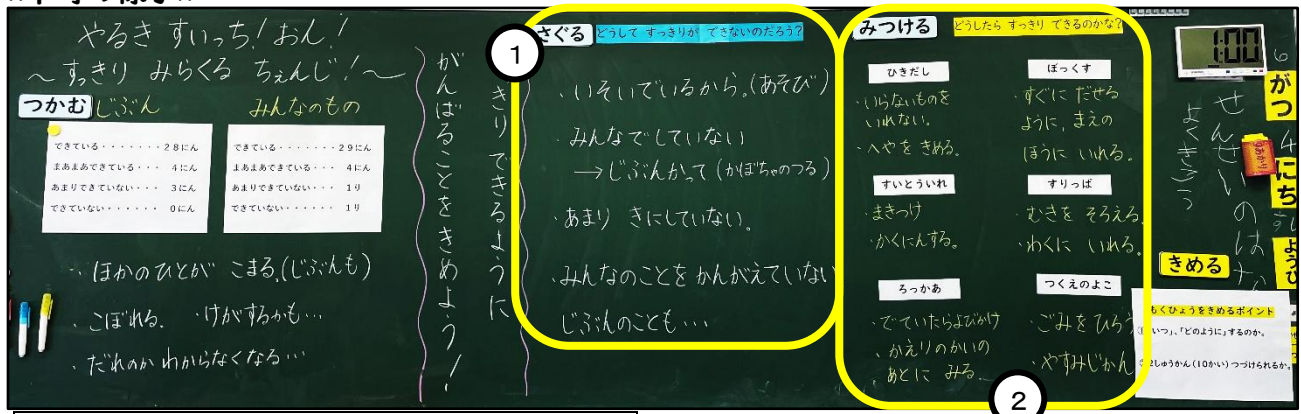
学級活動(2) 実践紹介

平仮名や文を書くことに慣れてきた6月に、自己目標を立てることもできると考えた。そこで、4月当初に比べ、身の回りの整理整頓が疎かになっている現状があったため、「やるきスイッチ! オン! ~すっきりミラクルチェンジ!~(整理整頓)」を題材に授業を行うことにした。事前の活動ではアンケートで①「あなたは引き出しの中や机の周りをきれいにできていますか。」、②「みんなで使う場所(水筒入れ・ロッカー・トイレなど)をきれいに使っていますか。」を問うた。約95%の児童が「できている・まあまあできている」と答えていたことから児童の意識と現状とのギャップに気付かせた上で自己目標を意思決定していく活動につなげていくことにした。

《本時の流れ》

学習活動	教師の働きかけ
【つかむ】題意をつかむ。 1 事前の活動でとった「整理整頓ができているか」のアンケート結果や、実際の様子を基に整理整頓の必要性について考える。	○事前にとったアンケート結果や児童の普段の様子(引き出しや机の周り)を写真で提示することで、題材への関心を高める。
すっきりできるように、がんばることをきめよう!	
【さぐる】整理整頓ができない原因を探る。 2 なぜ整理整頓ができないのかを考える。	○考えを広げることができるように、周りの友達と話し合いを行う。
【見つける】解決方法を考える。 3 整理整頓をしたい場所を考える。	○実際に現場を見るよう促し、自分事として整理整頓をしたい場所を考えることができるようにする。
4 同じ場所を選んだ友達とどのようなことに取り組みれば整理整頓ができるのかを考える。	○同じ場所を選んだ友達と解決方法を考えることを促すことで多様な取組を考えることができるようにする。 ○幼少期や4月からの生活の中での学びで生かせることはないかを投げかけることで「これまでの学び」に目を向けることができるようにする。
【決める】自己目標を意思決定する。 6 自己目標を意思決定し、実践への意欲を高める。	○自己目標の候補を2つ立ててもよいことを伝え、交流の中で、自分の思いを伝えたり、内容を吟味したりできるようにする。

《本時の様子》



柱1 「これまでの学び」を関連付けた授業展開

「これまでの学び」として整理整頓に関する幼児教育での経験、4月からの小学校生活での経験を児童が想起することを想定して授業を行った。「さぐる」段階(①)では、整理整頓ができない原因を全体で考えたが、「みんなのことを考えていないから散らかっていると思う。」という発言に対して「道德のかぼちゃのつる(節度・節制)と同じだ!」「自分勝手!」など前の週に学習した道德での学びと回遊する姿が見られた。「見つける」段階(②)では、整理整頓をしたい場所を決め、どうしたらその場所の整理整頓ができるのか、個人や友達と自由に考える時間をとった。その際に、「これまで試みて上手くいったことや、4月から学んだことで生かせそうなことはないかな?」と投げかけた。1年生なりに「これまでの学び」を想起しながら手立てを述べる姿がたくさん見られた。

柱2 他者との関わりを生かした目標設定

自己目標を意思決定する前に、候補として2つの自己目標を立ててもよいことを伝えた。本時では「いつ」「どのようにする」の視点で自己目標を考えるよう伝えたが、「いつ」の部分で取り組む時間を変えたり、「どのようにする」で異なる手立てを使ったりして2つ自己目標を立てている児童が多く見られた。その後、自己目標の意思決定に向かって、同じ整理整頓場所を選んだ友達と自己目標を交流し合う時間をとった。ある児童は、トイレのスリッパ並べを登校後に行うか、下校前に行うかを友達に相談する姿が見られた。友達から「朝より帰りの方がばらばらになってることが多いから帰りがいいんじゃない?」というアドバイスを受け、下校前にスリッパ並べを行う内容の自己目標の方に意思決定する姿が見られた。



やるき すいっち! おん!

☆ここをきれいにできるように になりたい!

- ・ひきだし
- ・すいどういれ
- ・ろっかあ
- ・ぼくす
- ・にもつかい
- ・すりば
- ・つくえのよこ(まわり)

☆すっきり みらくる ちえんじを めざして、がんばるめあて

いつ	どのようにする
あさ きたら	
・10ふんやすみに	
・15ふんやすみに	
・ひるやすみに	
・かえるまえに	
・そのほか	

なまえ ()

《1しゅうかんしてみて》

いつ	どのようにする
あさ きたら	
・10ふんやすみに	
・15ふんやすみに	
・ひるやすみに	
・かえるまえに	
・そのほか	

☆やってみよう!! (ばっちり ばああできた すこしできなかった できなかった)

6/5(もく)	★	6/13(きん)	★
6/6(きん)	★	6/16(げつ)	★
6/10(か)	★	6/17(か)	★
6/11(すい)	★	6/18(すい)	★
6/12(もく)	★	6/19(もく)	★

《実践中の様子》

授業を行った次の日から2週間自己目標達成に向け、実践を行った。その際、取組状況を振り返り、ポートフォリオに色を塗る活動を取り入れた(③)。登校後、「先生!スリッパチェックして並べたよ!」と報告に来る児童や、10分休みに一人で黙々と水筒の整理整頓を行う児童、机の回りのごみをたくさん拾って満足そうな表情を浮かべる児童の姿が見られた。実践に取り組む児童の様子を日々写真で紹介し、実践への意欲を継続できるようにもした。

実践1週間後に友達と一緒に自己目標を見直す時間をとった。実際に試してみても簡単すぎたり、難しかったりした人は自己目標を修正してもよいことを伝えた結果、35人中14人(40%)の児童が修正を行った。ここでも本時の意思決定の場面と同じように「15分休みだと忘れてしまったことがあったから朝の時間にしようかな」など「いつ」「どのようにする」の視点で修正を行う姿が見られた。取り組んでみたことで1年生でも自己目標が自分に合っているのか判断できることが分かった。

《振り返りの様子》

2週間の実践を終えた次の日の朝の会に、絵や言葉で振り返りを行う時間をとった。1年生なりに実践前と実践後の様子をイラストで表現したり、言葉で表現したりしていた。「実践を行う前に比べてきれいにできるようになった」という振り返りを書く児童が多く見られた。中には、「1週間の実践では上手くできなかったが、内容を変えればできるようになって嬉しかった」という感想をもち、自分の実態に即した自己目標になったことで自己の成長を感じることができた児童も見ることができた。

成果(○)と展望(◆)

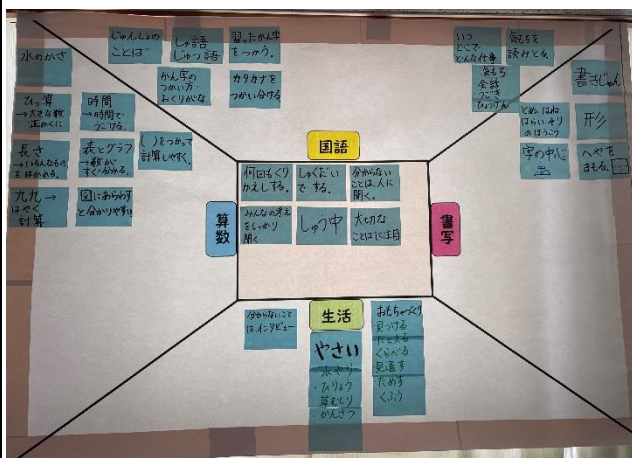
- 「これまでの学び」に目を向けるよう促すことで、1年生なりに具体的な取組を考え、自己目標に生かすことができていた。また、1年生という発達の段階においても1週間の実践を行うことで自己目標が自分に合っているものなのかを判断することができた。
- ◆ 教師からの声かけがないと実践が疎かになる児童が数名見られた。「つかむ」段階でいかに自分事として題材を捉えさせるか、他者との交流が有効に働くことでより明確で期待感をもった自己目標にできるか、1年生の発達の段階に合った手立てを今後も探っていく必要がある。



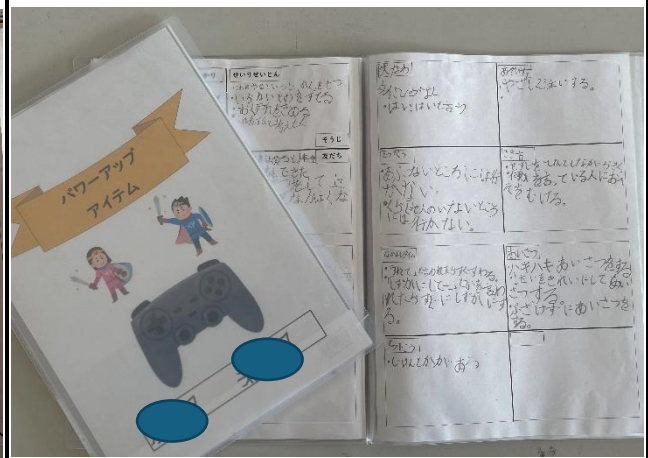
パワーアップアイテムについて

「これまでの学び（各教科等の学びや実生活での経験）」を可視化する手立てとして「パワーアップアイテム」を用いることとした。昨年度は2年生で文字を書くことに抵抗がなかったため、教室掲示したものと個人用のファイルを用いることとした。今年度はまだ文字を書くことに個人差があるため、教室掲示のみの「パワーアップアイテム」を作成することにした。児童には、ゲームを例に「自分が試してみて成長できたことをアイテムとしてたくさん集めておいて、みんなが成長したい時にどんどん使っていきましょう。」という話をした。帰りの会で「パワーアップタイム」を設けて、「上手くいったぞ」と思ったものを発表し、みんなで共有した後、付箋に書き、掲示していく形式で行った。

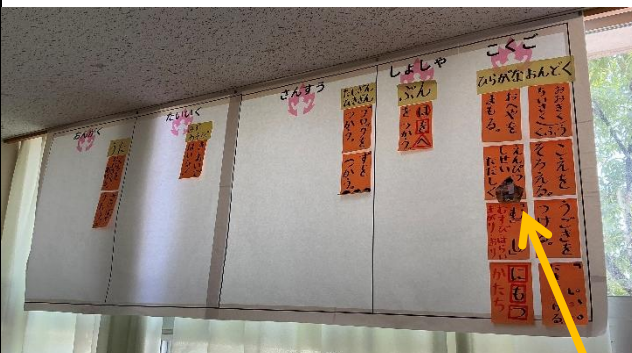
教室掲示 (R6 年度) 各教科等の学び



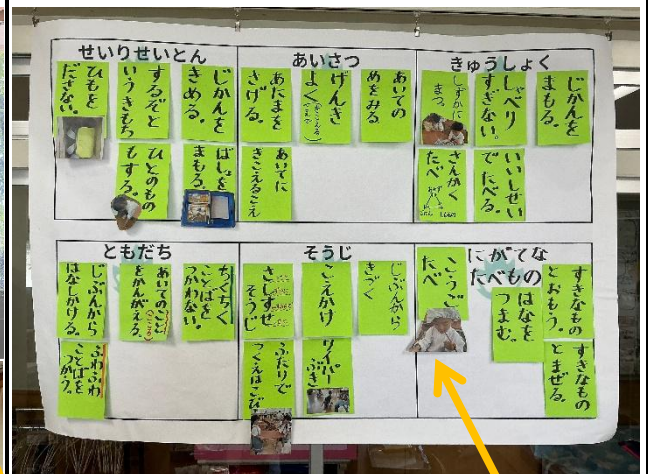
個人ファイル (R6 年度) 実生活の経験



教室掲示 (R7 年度) 各教科等の学び



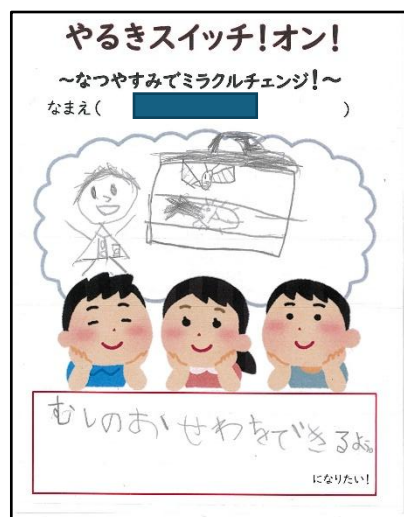
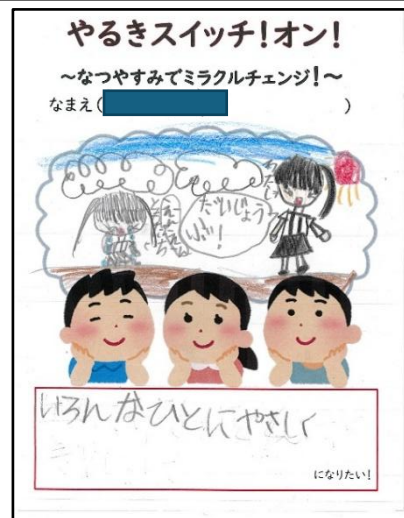
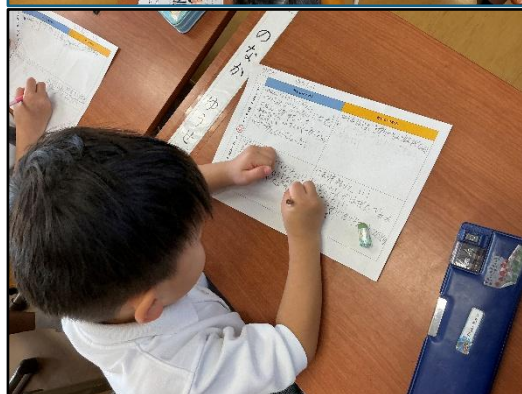
教室掲示 (R7 年度) 実生活の経験



実際に取り組んでいる様子
が見られたものは写真も一
緒に掲示している。

本時に至るまで(1時間目)

1時間目は、夏休み明けの「なりたい自分」像を具体的にもつことを目標に実施した。まず、夏休みが終わった後にどんな行事があると思うか児童に尋ねた。「新しい勉強!」と答える程度で具体的には何があるのか知らない様子だったため、「なりたい自分」になるための目的意識をもたせるために、教師から夏休み明けの行事を提示した。その後、写真を用いて4月からの児童の成長をふり返った。「懐かしい!」や「あ～あった!あった!」など、みんな楽しくこれまでの成長をふり返っていた。その後、学習面と生活面で「できるようになったこと」「もっとがんばりたいこと」の2つの視点でこれまでの成長を一人一人具体的に振り返る時間をとった。書くことに悩む児童も数名見られたため、「パワーアップアイテム」を見るよう促したり、これまで学習してきたことの一覧表を提示したりした。それらや友達の意見を参考にすることで、自分の成長や課題を紙いっばいに記入する児童の姿が多く見られた。その後、本時でも使用するポートフォリオを配布し、夏休み明けの「なりたい自分」像を考える活動を行った。児童には「夏休み明けに学校が始まって、みんながこんな姿になれていたなら嬉しいな、わくわくするなと思うものを考えてみよう。」と伝えた。先程考えた自分の成長を基に「なりたい自分」像を考えたり、それ以外に思いついた「なりたい自分」像を考えたりしている姿が見られた。最後に夏休み明けの自分の姿を想像し、イラストに表すよう伝えたところ、それぞれ思い思いに自分の姿を描くことができていた。本時では、ここで考えた夏休み明けの「なりたい自分」になるために、より明確で期待感のある自己目標を意思決定することを目指していく。



がくしゅうめん	せいかつめん
- みずあそびでうきこと - なげななが かけるようになった。 - はやくはしめるようになった。 - あわいく こうさくができた。	- きゅうよくで、しるべりすぎないし。 - かかりかっとうを なげよくできた。 - かえりのじゅんびを しずかに - はやね・はやおき、あいさつ(あかるく) - きゅうよくして そうじ
- はなしの ききかた - てつぎゅうの さかあがり を とりて - ひきざんを すらすら - ボールゲームで はやくなげる。 - みずあそび(うく)	- そうじを てきはき、さしすせそうじ(じぶんたちで) - きまりを まもりたい。(ううか) にがてなたべもの - かえりのじゅんび、あいさつ - かかりかっとう(てきはき) (ひとあつめ)

ポートフォリオについて

今回の実践は、夏休みに行くことになる。教師が実践を見取り、価値付けることができないため、自己評価だけでなく、保護者にも評価を学級通信でお願いした。

やるき スイッチ! オン!

☆ミラクルチェンジをめざして、がんばるめあて

なにを どのようにする

①

自己目標の候補①

なにを どのようにする

②

自己目標の候補②

()の めあてを がんばるぞ!

☺

意思決定した自己目標

なまえ()

《めあてをやってみて・・・》

やってみて、めあてが むずかしすぎたり、かんたんすぎたり したときは、めあての ないようを かえても いいですよ(あかて かきなおしましょう。)

☆やってみよう!! (ばっちり ばあまあできた すこしできなかった できなかった)

	じぶん	いえの ひと		じぶん	いえのひと
7/24	☆	☆	8/10	☆	☆
7/25	☆	☆	8/11	☆	☆
7/26	☆	☆	8/12	☆	☆
7/27	☆	☆	8/13	☆	☆
7/28	☆	☆	8/14	☆	☆
7/29	☆	☆	8/15	☆	☆
7/30	☆	☆			
7/31					
8/1					
8/2					
8/3					
8/4	☆	☆	8/21	☆	☆
8/5	☆	☆	8/22	☆	☆
8/6	☆	☆	8/23	☆	☆
8/7	☆	☆	8/24	☆	☆
8/8	☆	☆	8/25	☆	☆
8/9	☆	☆	8/26	☆	☆

実践に対する
自己評価・保護者の評価

【表紙】

【裏面の振り返り】

やるきスイッチ! オン!

～なつやすみでミラクルチェンジ!～

なまえ()

夏休み明けの自分の姿
をイラストで



なりたい自分像

なりたい!

☆ふりかえろう!

◎ なつやすみを ふりかえって、じぶんが がんばったことや、これまでとくらべて よくなったところを えや ことばで かきましょう! しやんも いいですよ

取組を通した感想を
イラストや文で記入

◎ おうちの ひとから メッセージを もらいましょう!

保護者から実践に対するメッセージ

アンケートへのご協力をお願い

本日はご参加ありがとうございました。授業を参観されて、また研究会に参加されてのご意見・ご感想をいただき、今後の研究に生かして参りたいと思います。下記のコードを読み取って頂き、アンケートへのご協力をよろしくお願いします。

研究発表会全体に関するご意見・ご感想
はこちら



学びを見るシート（特別活動の授業を見
られてのご意見・ご感想）はこちら



メモ